

刊行にあたって ————— 003

chapter 1

確実な精密修復へのこだわり ————— 007

- 1 | 前歯部ダイレクトボンディングの適応症 ————— 009
- 2 | 前歯部ダイレクトボンディングのメリットとデメリット ————— 012
- 3 | ダイレクトボンディングの技術向上に必要なこと ————— 014

chapter 2

天然歯の構造を理解する ————— 017

- 1 | 歯の色調再現のための色の捉え方 ————— 018
- 2 | 発育葉からみた歯の形態の成り立ち ————— 024
- 3 | 歯の表面性状の特徴 ————— 026
- 4 | 歯の加齢的变化の特徴 ————— 027

chapter 3

前歯部精密修復治療の流れ ————— 029

- 1 | シェードテイキングの方法 ————— 030
- 2 | マイクロスコープの使用とフィールドコントロール ————— 037
- 3 | シリコンインデックス法 ————— 040
- 4 | プルスルーテクニック ————— 042
- 5 | 窩洞形態とベベル ————— 046
- 6 | マルチレイヤーテクニックの実際 ————— 048
- 7 | ベーシックシェードA1のマルチレイヤーテクニック ————— 049
- 8 | 形態修正と表面性状の付与 ————— 059
- 9 | 2.5レイヤーテクニックの実際 ————— 066

chapter 4

天然歯のバリエーションに応じた臨床例———— 073

- 症例1 レイヤーとティントを用いた
老年代表現のダイレクトボンディング———— 074
- 症例2 骨性癒着を伴う歯列不正に対する
ダイレクトボンディング———— 077
- 症例3 上顎右側前歯部の打撲による
歯冠破折に対するダイレクトボンディング———— 083
- 症例4 歯冠破折により抜髄された
失活歯のダイレクトボンディング———— 086

chapter 5

メンテナンスと予後———— 089

chapter 6

My Favorite Items———— 095

あとがき———— 101